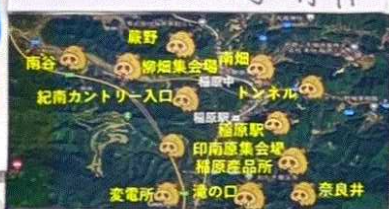


イノシシと一緒に大切な命に

大切な命に

稲原住民100人に聞いてみた

イノシシ目撃情報



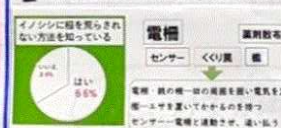
中学生と大人で生活リズムや活動時間が違うので、目撃数が違う。しかし、確実にイノシシはいる。



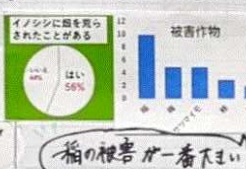
地域の現状を知る

電柵を使っている人が一番多い

【イノシシ対策道具】



【イノシシによる畑への被害】

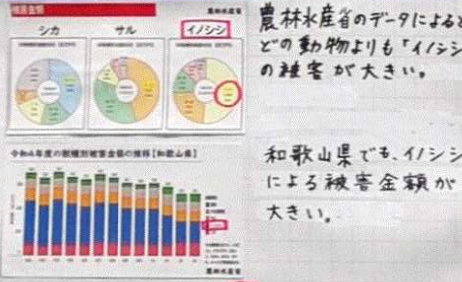


【聞き取り調査】

印南町の猟師の人数
20年前 100人以上
今 77人と減少

動物からの被害をなくすこと
米の収穫量アップ

稲原中学校では、「もち米づくり」に取り組んでいます。米の収穫量アップには動物からの被害をなくすことが大切だと考えました。中でもイネの被害の大きな原因となる「イノシシ」に焦点をあて、「なぜイノシシが山からくるのか」、イノシシの生態や対策を調べました。



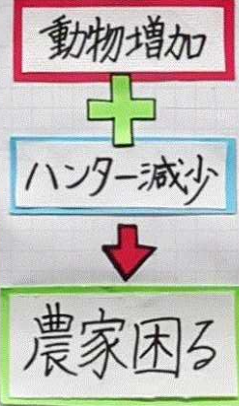
イノシシ対策が必要!!

【田中さんインタビュー】

・田んぼが荒らされている
→自分ができることをしたい
・山に住んでいる物体を捕まえる
→「田や畑を荒らしに来たら命はないよ」
・イノシシの捕獲は一人では困難



- 山が下りてくる要因
 - 食料を手に入れたため
 - 雑草がエサになる
 - ぬたおろすための薬草がエサになる
- 駆除以外のイノシシ対策
 - ① 電柵
 - ② 270度の柵
 - ③ ネットの柵
- イノシシの特徴
 - サトイモ、サツマイモなどのタンパク質を好む
 - 両目が黒い
- 捕獲後のイノシシの行方
 - 異常なし...食用
 - 異常あり...山に埋める



稲中農業

私たちの田んぼでもイノシシ対策をしております。電柵を設置して、イノシシの鼻先に合わせ、20cmに調整しました。田中さんから実践して、お話を聞きました。イノシシの対策を、田中さんからお話を聞きました。イノシシの対策を、田中さんからお話を聞きました。イノシシの対策を、田中さんからお話を聞きました。

【グッズ】(手作り)

田や畑が荒らされているのを知って、対策グッズを作りました。ほかにも、ニンニクやとうがらしなど匂いの強いものを畑にまく

線香などの火事を連想させるもの

地域に配布リーフレット

暗くても目が光る!!

CDを使うなど工夫!!!

共生

農作物被害の発生

自分たちの空間に入ってきたら駆除してその命を大切に頂く

話し合っ、考えて考えたことを伝える

地域の人や自分たちの米作りに生かす

それぞれの空間に住み分ける

米の収穫量をアップするために対策してきたけれど、それはイノシシのためにもなると感じられました。猟師さんから直接話を聞くことで、音役深く考えられていながら、イノシシや農業について、また地域の人の想いや、現状も知ることができました。

イノシシによる被害とイノシシとの共存を考えて、今の現状をふまえ、稲中農業にどう生かしていくべきか深く考えさせられました。